

事例6 藤沢タクシー株式会社

～ 旅客輸送の安全のため、社訓に健康の保持を盛り込む ～

～ 社長（保健師）、産業医、地域の禁煙促進医が粘り強く働きかけ、禁煙タクシーの導入、敷地内全面禁煙を実施 ～

1 企業の概要

- タクシー会社。神奈川県藤沢市で初めて福祉タクシー、禁煙タクシーを導入。
- 従業員数は約 80 人。

2 健康確保対策の特徴

(1) 取組の体制、経緯、方針

- 現在の社長は3代目で、保健師資格を有する。
- 旅客輸送の安全のためには、乗務員の心身の健康が基盤であることを強く認識し、社訓に健康の保持を盛り込む。
- 年間目標の中に毎年健康増進に関する内容を掲げている。

(2) 取組の内容、目標設定、成果

- 喫煙率の高さに着目し、社長自ら禁煙方針・目標値を設定。地域の禁煙推進医の支援も受け、禁煙タクシーの導入（平成 15 年）、敷地内全面禁煙を実施。今後はメタバ防止のための取り組みへ展開。
- 対策に着手した当時は乗務員の反対が強く、乗客からも禁煙化反対の声が上がった。喫煙のリスクについて社長や産業医による説明（産業医はタクシーに乗車して説明）を繰り返すことにより、理解を得た。
- 平成 14 年時点で 78%であった乗務員の喫煙率が、平成 28 年には 38%にまで激減。
- 同社の取組が、その後の神奈川県タクシー全面禁煙化（平成 19 年）につながる。

(3) 自社の状況（強み・弱み等）を踏まえた工夫や、取組が上手くいくポイント

- 中小企業の特徴を活かし、保健師である社長が社員に直接働きかける。
- 社員の「健康」が公共輸送の使命である「安全」に直結することをアピール。